

「よしおかの子育成プラン」の具現化を目指して

～「地域の取組」に焦点をあてて～

吉岡町学校運営協議会では、令和2年に策定された「一人一人が輝き、健やかに伸びる『よしおかの子育成プラン』」の具現化に向けて、令和4年度より協議（熟議）を進めてきました。「よしおかの子育成プラン」は、吉岡町が目指す子供の姿について「優れた知性」「豊かな人間性」「健やかな心身」の3つに分けて記載しています。また目指す子供の姿に近づけていくために、「学校」「子供」「家庭」「地域」がそれぞれどのように行動すべきかが明記されています。学校運営協議会では、この「よしおかの子育成プラン」の具現化に向けてどのような取組を行うべきかについて協議（熟議）を行っています。

今年度については「地域の取組」について、3つの目指す子供の姿（「優れた知性」「豊かな人間性」「健やかな心身」）ごとに班をつくって協議（熟議）を行いました。その結果を公表いたします。内容によっては各団体等へのお願いを記載してありますので、ご一読くださいますようお願い申し上げます。（熟議の概要については裏面をご覧ください）

学校運営協議会は、今後も吉岡町の子供たちのために活動していきます。ご意見等ありましたら委員・事務局にご一報いただければ幸いです。

（「よしおかの子育成プラン」は各小中学校のHPに掲載してあります）

令和4年度吉岡町学校運営協議会

（令和4年度の学校運営協議会委員）

会 長		委 員	
上原 勉	（元吉岡中学校校長）	同	山崎 栄寿（明治小学校長）
副会長	邑上 信子（吉岡町主任児童委員）	同	須藤 昭利（駒寄小学校長）
委 員	柳澤 比呂史（明治小学校 PTA 会長）	同	坂本 浩之（吉岡中学校長）
同	塩野 明（駒寄小学校 PTA 会長）	同	柴崎 尚長（第四保育園長）
同	星野 昌明（吉岡中学校 PTA 会長）	同	福田 文男（社会福祉協議会局長）
同	須藤 利仁（自治会連合会副会長）	同	原澤 隆（コーディネーター）
同	大井 正昭（北下地区自治会長）	同	内田 伸一（コーディネーター）
同	千明 誠（駒寄地区自治会長）	同	藤多ゆかり（教育長職務代理者）
同	東谷 孝雄（吉岡町主任児童委員）	同	長島 忠行（教育長職務代理者）
同	小和瀬明香（吉岡町主任児童委員）		

（東谷氏～11月 小和瀬氏 12月～ 藤多氏～9月 長島氏 10月～）

「優れた知性」を目指すための地域の取組について



- ・大人と子供の関わりを増やしていく（心の交流）ような体験活動の充実が必要である。そのためにはリスクとの共存を考えつつ、小中学校での体験活動を、幼保からの育ちから、必要な体験を子供の興味関心を大切にして提供していく。そのためにも、社協のボランティアバンクの活用など、町の人的資源・物的資源を活用した体験活動を推進していくべきである。
- ・小学校でも引き続き地域の力を借りた体験活動を充実させていく。また中学校では今年度実施できなかった「職場体験学習」を地域の理解・協力を得ながら次年度実施したい。

「豊かな人間性」を目指すための地域の取組について



- ・家族同士の繋がりを増やす。結果としてそれが「あたたかい家庭」につながると思われる。そのための保護者や子供たちのための地域行事は大切にしていける必要がある。
- ・ボランティアの活用（自発的・自主的な活動）
- ・「居場所づくり」「集会所活動」など活性化していくべきである。
- ・吉岡町は公園が少ない。児童館も整備が必要と考える。町に要望したい。

「健やかな心身」を目指すための地域の取組について



- ・「地域愛」を育てることが大切。異年齢交流や世代間交流の場としての自治会活動を活発化すべきである。（結びつき・自己肯定感・積極性の免からも）また、人口増による交通量の増加に対応した児童生徒の「見守り」についてより強固な取組が求められている。
- ・具体的な取組としては、「子育てサロン」での高齢者と子供のマッチング、「夏祭り」「吉中ボラ」等があげられる。活性化のためにも「周知」が大切となってくる。

問合せ先：吉岡町学校運営協議会事務局（吉岡中学校内） 電話 0279-54-3213